

令和4年度 — 決算報告 —

令和4年度決算が9月に開催された村議会定例会で認定されました。一般会計では、歳入総額が28億5283万5594円、歳出総額が27億346万7752円で、差し引き1億4936万7842円の黒字決算となりました。これは、令和3年度と比較すると、歳入で1705万6808円(0.59%)の減額、歳出で7232万4413円(2.75%)の増額となっています。

一般会計決算の状況

黒字決算となりました

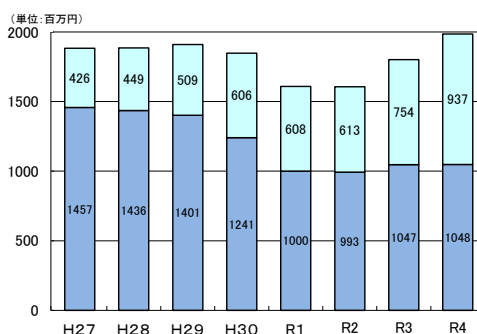
歳入	歳出	差引
28億5284万円	27億347万円	1億4937万円

特別会計・公営企業会計の決算状況

会計区分	歳入	歳出
＜特別会計＞		
国民健康保険	4億1424万円	3億9195万円
介護保険	4億5106万円	4億1663万円
後期高齢者医療	4326万円	4244万円
＜公営企業会計＞		
合併処理浄化槽設置管理		
①収益的収支	4211万円	4038万円
②資本的収支	1600万円	1794万円
簡易水道		
①収益的収支	1億5592万円	1億3420万円
②資本的収支	1693万円	5326万円

基金残高の状況

■ 財政調整基金
■ その他



令和4年度は、令和元年に発生した台風19号にともなう災害対応や新型コロナウイルス感染症拡大防止対策経費等ありましたが、新庁舎建設に備えた基金への積立を積極的に行い、基金現在高が約1億8400万円増加しました。

東秩父村の健全化判断比率

令和4年度決算に基づいて算定された東秩父村の健全化判断比率は下表のとおりです。

区分	東秩父村	早期健全化基準
実質赤字比率		
一般会計(※)の赤字から財政運営深刻度をみる比率 (※村の一般会計等とは、一般会計およびバス会計をあわせたもの)	—	15%
連結実質赤字比率		
全会計の赤字から財政運営の深刻度をみる比率	—	20%
実質公債費比率		
借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度をみる比率 (この比率は当該年度と過去2カ年の3カ年の平均値を算出)	2.5%	25%
将来負担比率借		
村が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度をみる比率	—	350%

(摘要) 早期健全化基準の数値を超えた場合、財政健全化のための是正措置が必要となります。赤字がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「—」で記載されます。将来負担比率は算定されないため「—」で記載されます。